

全明治の学生諸君に訴える!

全共斗とは?その実態

全共斗を批判する前に、このような組織を承認した中執につれて少し批判的なものを述べてみた。

① 6月17日 記念館において臨時学生大会が行なわれ賛成377
反対208 無効10 係員23 委任5 という結果、ストaker確立を行なった
が、組織人で当時の委員長が行なった長老は42年度の中執委員と過去2年内役員
の改選並びに中執委員の改選が行なわれてない。このような状態でストakerを
確立したのは一般学生にとって納得のいく方法ではない。

② 経理公開報告が行なわれてない。このことは6月に行なわれた第1回
公開討論会で、彼ら中執委員自身はつきり報告していないことを述べてある。しかし中執
委員は113113の事情があると言つてゐるが、それを理由があり立つわけはない。

③ 代議員につけても43年度代議員すら選出されないところもあり、
44年度の代議員であっても中執に国会の憲法のものは認められない。
44年度以外の代議員にやつて決定されたのみ納得出来ない。

多くの問題点を多くもつてゐる中執が全共斗組織を認めてまで
すべてを一手にたどることは、全く明大全学友を無視した行為であり
そのような態度は自らの手で学生自治を破壊した態度といふべし。

このような中執によつて認めた全共斗は、と言ひは「6月21日に結
成され、全学バリケード封鎖に突入(たけた)が、この全公開
組織も一部全公開(ブント)、二部全明金共闘とに分かれている。

このような二分した組織に大学改革が出来るのだろうか、彼らはいつも
誰でも全共斗に参加して意見を述べてくれと呼びかけてゐるが、
過去の学生大会においてバリスト反対の署名をもつた一學生が書上に
登つて一般学生に訴えようとしているが、強引に引きちりあつた。
また団交、学生大会において民主主義的な討論を十分行なう物事を多数決
で決してたどるが、全くこいつは111程十分な討論は行なわれず、實力
で決してしまつた。いわゆれば全共斗の闘争方向に積極出来ぬ者は全く
度外視してゐる。この全共斗方式の組織が学内とか政治等の問題解決に
實力を用ひるのはあきらかである。1部、2部とも分裂して13全共斗はヤクト
化され各ヤクト間の争いに変り運動の本質が、反対勢力の敵視、全學
バリケード封鎖、街頭での暴動隊との衝突となつて、話合いが、
問題解決を目指す一般学生は全共斗を認める事は出来なくなるであつた。

② 又駿河台本校校舎においては最近まで明大生は見えず青山学院全公開
中央大学全公開、和泉では日大全公開が、生田では専修大学
全公開等々が泊り込んで破壊同然の行為をしてゐる。

彼らの言う自主管理とは校舎内のいわうた人に煙草の火を消し壁に
落書きを机や椅子をこわすことなの?

全明治の学友諸君 このような全公開の斗争
方針を再度考える時期が来ているのだ!